

浦添市地域学校協働活動 第2号 ボランティアだより

浦添市教育委員会 教育総務課 教育協働係

2019年2月14日発行

浦添市では、市内小中学校に各1名ずつ地域コーディネーターを配置しています。第1号では地域コーディネーターの役割や連携方法をご紹介しました。第2号では、もう少し具体的に説明したいと思います。

地域コーディネーターとは…？

例えば、こんな声が聞こえます。

<学校から>

- ・子どもたちにキャリア教育をしたいが、地域で知識や経験をもつ人はいないだろうか。
- ・地域の人たちにボランティアを頼みたいが、誰に頼めばいいのだろう。

<地域住民から>

- ・特技や経験を活かしたいのに、活かす場がない。
- ・子どもたちのために、何かできることがしたい、役に立ちたい。
- ・ボランティアをしてみたい。

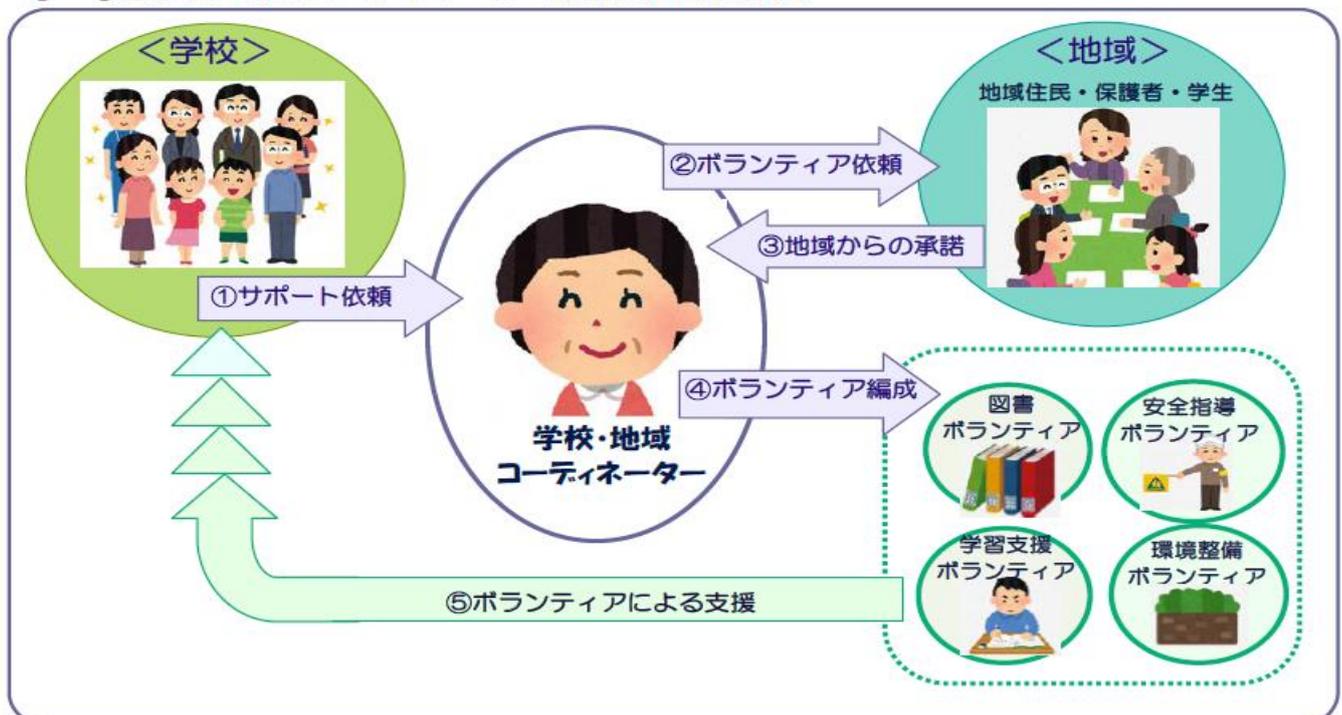
でも、どうしたらいいの？！

そこで、学校・地域コーディネーターの登場です。とても簡単に言うと…

学校・地域コーディネーター = つなぐ人、学校と地域の架け橋

- 学校で求める教育活動のねらいと、地域の特性や地元の人たちの得意なことを上手に結びつけることです。
- 学校を支援するボランティアをまとめ、人数を増やしていくことです。

①～④を学校・地域コーディネーターが主に担当します。



地域連携活動の事例紹介



港川小学校 ～地域人材を活用した歴史や文化の学び～

1/28
(月)

港川小学校5年生（4学級）が、港川小学校区内の地域散策をしました。伊祖コースは、安里伊祖自治会長が伊祖地域を案内説明してくださいました。安里会長の「港川小学校、中学校があるこの辺は昔、丘や畑が広がっていた。この道も昔は川だった」という話と当時の写真に子ども達は驚きの声を上げていました。

伊祖地域に今も残るカー（井戸）では、安里会長に指導されながら水くみ体験も行いました。



沢岬小学校 ～地域の方々と共に持久走大会～

1/25
(金)

沢岬小学校の伝統行事である校内持久走大会が、保護者・ボランティア・地域の方々が見守る中行われました。

今年から、コースは校内、学年毎に制限時間内にどれだけ走れるかを競いました。PTA 保健体育部の皆さんは、コース誘導や、距離の提示、子どもへの声かけ・応援など持久走大会の裏方としてがんばっていました。また、地域の方やおじいちゃん、おばあちゃんも応援にかけつけ、一生懸命に走る子どもたちを応援していました。校長先生から「読み聞かせは中学生にも必要。人の話を聞くことのできる中学生になってほしい」との話もありました。



神森小学校 ～コーディネーターによる外部支援の活用～

12/11
(火)

地域コーディネーターが米軍ボランティアの要望と学校の読み聞かせニーズを繋いで英語絵本の読み聞かせを行いました。

読み聞かせの後は、児童1人1人とハイタッチをしたり、記念撮影をしたりとお互いに楽しいひと時を過ごしました。児童からは「大体の内容は理解できたけど、全部意味が分かるようにもっと英語の勉強をしたい」と笑顔で語ってくれたのが印象的でした。



英語読み聞かせは他の学校でも対応可です

～問い合わせ先～

浦添市教育委員会 教育総務課 教育協働係 担当：宮城、川畑

電話 098-876-1234（内線6063） メール edusomu@city.urasoe.lg.jp

